

令和 6 年 5 月 22 日現在

機関番号：12601

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K12954

研究課題名(和文)Literary Geographies of Folklore

研究課題名(英文)Literary Geographies of Folklore

研究代表者

THURGILL JAMES (THURGILL, James)

東京大学・教養学部・特任准教授

研究者番号：20783210

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：この研究プロジェクトは複数の成果を生み出した。プロジェクトの成功は以下の通り：共著本1冊、ジャーナル掲載論文8本、共著論文2本、受理され出版中の論文1本。6xの書籍の章が出版され、1xの書籍の章が受理され出版中(2024年)。また、百科事典の項目1件がSpringer Pressに受理され、出版中である。また、1本の共著論文が執筆され、現在査読中で、1本の単行本がウェールズ大学出版に依頼され、2024年秋に投稿予定です。招待講演7回を含め、合計12回のプレゼンテーションを行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

The research conducted has been paramount to understanding more precisely the connections between people, folk narratives, and place. The project has produced valuable information about the way local, regional and national identities are created through literary-geographical processes.

研究成果の概要(英文)：This research project produced multiple outputs. The successes of the project include: 1x co-authored book, 8x published articles in journals, 2x co-authored articles published, 6x book chapters have been published. I also have 1x encyclopaedia entry accepted and in press with Springer Press. Another 1x co-authored article has been written and is under review, 1x monograph has been commissioned with University of Wales Press due for submission autumn 2024. I edited a themed section of 'Literary Geographies' journal containing 10x contributions, and have launched a book series with University of Wales Press, co-edited with Sheila Hones. I've given 12 presentations in total, including 7 invited lectures. I also organised 2x conference sessions organised and chaired at Royal Geographical Society Annual Conference.

研究分野：Human geography

キーワード：Literary Geography Human Geography Folklore Place Narrative Spatiality Space Identity

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

文学地理学は文学の研究に地理学的アプローチを取り、人物、テキスト、場所の空間的關係を考察します (Hones 2014)。同様に、民俗学は人々と場所のつながりを記述する書き物や口承の物語を生み出すと見ることができます。民俗学との文学的な関わりは、伝統的な信念や地理的場所に関する知識が文化的記憶に組み込まれる主要な方法として機能します。これは、場所や人々に関する歴史のおよび現代的な理解が記録され普及される過程です。しかし、文学地理学は民俗文学とその場所に対する文化的理解の生成における役割を見落としてきました。文化地理学者たちは、場所作りの分析において精神性、伝説、信念にある程度の注意を払ってきましたが (Pile 2005; Till 2005; Edensor 2008; McCorristine and Adams 2019) 彼らはしばしば社会的プロセスを説明するために民話の比喩的な使用に焦点を当ててきました (例: 記憶の比喩としての幽霊の使用)。文学地理学と文化地理学の両方が、場所を創造し、人々の周囲の理解を文脈化する上で民話の根本的な役割を無視してきました。このプロジェクトは、小説、短編小説、目撃者の手書きの記録、その他の伝統的な民話の文書など、幅広い資料から情報を引き出し、民話文学、文化的物語、信念が場所の理解とどのように交差し、影響を与えるかを調査することを目的としています。この研究は、民俗学の教育的能力と、伝統的な信念、慣習、文学的想像を通じて地理学の過去、現在、未来の理解に情報を提供する役割を示す上で重要です。

Edensor, T., (2005) *Industrial Ruins: Space, Aesthetics and Materiality*. Oxford: Berg.

Hones, S., (2014) *Literary Geographies: Narrative Space in 'Let the Great World Spin'*. London: Palgrave Macmillan.

McCorristine, S. and Adams, W., (2019) "Ghost species: spectral geographies of biodiversity conservation", *Cultural Geographies*, 1-15. [Online]. Available at: <https://doi.org/10.1177/1474474019871645>.

Pile, S., (2005) *Real Cities: Modernity, Space and the Phantasmagoria of City Life*. London: Sage.

Till, K., (2005) *The New Berlin: Memory, Politics, Place*. Minneapolis, USA: University of Minnesota Press.

2. 研究の目的

本研究は次の 4 つの核心的な目標を達成することを目指しています: A. 民俗学に関する文学地理学の発展。この研究は、民俗学の文学作品と地理的想像力とのつながりを確立し、文学研究者と地理学者の双方にとって未踏の民俗文学の新しい解釈を提供します。これにより、場所作りとアイデンティティ構築における民俗文学の異文化間の重要性が確立されます。B. 既存の民俗学研究に独自の貢献をする。このプロジェクトは、人々、物語、場所との間の重要な地理的關係を示し、民俗信仰に関する文学作品の既存の文学および地理学研究をさらに発展させます。C. 民俗学研究における場所とアイデンティティの文学地理学的理解を形成する。これまでの出版物 (Thurgill, 2015a および 2015b、2018a 参照) で、イギリスの民俗学と霊性の分析において場所と物語の重要性を強調してきました。この研究は、民俗物語、場所、風景の関係を、民俗学および超自然に関する文学作品の中で探求します。D. 文学地理学の範囲を文学テキストの枠を超えて拡大する。文学研究と文学地理学は、特定の種類の文化テキスト、つまり小説、詩、短編小説を重視してきました。このプロジェクトの一つの目標は、ブログ、オンラインフォーラム、日記、アーカイブ文書など、すべての形態の書かれたテキストを意味ある地理的情報源として理解し、文学地理学の範囲を拡大することです。

3. 研究の方法

本プロジェクトで採用された方法は、主にテキスト分析とアーカイブ調査ですが、フィールドワークと写真撮影も含まれます。最初の年 (2020-21) は、特に M.R. ジェームズ、ラフカディオ・ハーン、柳田国男の選ばれた作品に焦点を当てて、民俗文学の地理学的解釈の開発に取り組み、主にテキストベースで進行しました。COVID-19 の発生により、国際的および国内的な研究が行えなくなったため、方法を再計画しました。

2 年目 (2021-22) は、1 年目に行った地理学的解釈をさらに発展させました。テキスト分析と限定的なフィールドワークおよびインタビューを使用して、文学地理学と民俗学に関する学術論文を準備しました。研究成果は、2021 年のロイヤル・ジオグラフィカル・ソサエティ年次会議

(オンライン)およびその他のオンラインフォーマットで発表しました。
3年目(2022-23)は、1年目と2年目に行った研究と執筆をさらに発展させ、モノグラフ原稿(仮題『民俗学の空間性』)の研究と執筆を開始しました。研究成果は、2022年のロイヤル・ジオグラフィカル・ソサエティ年次会議(ロンドン/オンライン)およびその他のオンラインフォーマットで発表しました。
4年目は、1年目から3年目にかけて行った研究をモノグラフ原稿としてまとめるために使用され、これはウェールズ大学出版局から依頼され、2024年10月1日提出予定です。各年は、テキストベースおよびアーカイブ調査、博物館訪問、そして(コロナの制約により可能な範囲での)フィールドワークを組み合わせて進めました。

4. 研究成果

全体として、このプロジェクトは非常に成功し、予想以上の出版成果を生み出しました。初期の段階ではCOVID-19パンデミックによって研究が多少妨げられましたが、その分、研究と執筆に多くの時間を割くことができました。最終的に、このプロジェクトは場所、アイデンティティ、物語のつながりを明確にするという核心的な目標を達成し、発見された情報はすでに他の学者によって引用され、学術研究で使用されています。

プロジェクトにはいくつかの重要な結果がありました：

1. 民俗学は実際の世界の体験において融合する生きた、想像上の、物理的な地理学の混合によって作られることが明らかになりました。
2. 民俗学に関する文学地理学を発展させることを目指し、この目標は達成されました。会議発表や発表された記事が制作され、この分野の研究に影響を与えています。
3. 文学作品、民俗学、地理的想像力の間につながりがどのように形成されるかを成功裏に示し、この分野での独自の研究を生み出しました。
4. 物語や民俗学に関連する文学観光を通じて、地域や地方のアイデンティティがどのように形成されるかを明らかにしました。
5. 文学地理学における「文学」の見方を変えることにも成功しました。さまざまな資料を使用することで、文学地理学における「文学」の研究対象として受け入れられる文献の範囲がこのプロジェクトによって拡大しました。
6. プロジェクトの最終目標は、プロジェクトの1年目から4年目の成果をまとめた民俗学の文学地理学に関するモノグラフを作成し、4年間の資金提供期間の終了時またはその直後に提出することでした。この本は、民俗学の文学地理学に関する初の研究となる予定です。この目標は実現され、原稿はウェールズ大学出版局によって依頼されました。

また、研究期間(2020年~2023年)には、私はシェイラ・ホーンズ(UTokyo)とウェールズ大学出版局で共同編集者として書籍シリーズを立ち上げ、『Literary Geographies』ジャーナルの特集号を編集し、イギリス王立地理学会のフェローに選出されました。

このプロジェクトは、国際会議、学術会議、シンポジウム、およびオンライン講義の組み合わせで行われた12回の学術発表につながりました。

このプロジェクトでは、いくつかの出版物が生産されました。これには、1冊の共著本、8本の単著記事、2本の共著記事、および6つの本の章が含まれます。

本

Thurgill, J. and Madomitsu, M. (2021) *A Today Philosophical Walk with Dr. Thurgill: Toward a Geographical Interpretation of Place*. Tokyo, Japan: Seeds Planning Press.

学術記事

Thurgill, J. (2023) 'Revenant narratives/literary hauntings: on the spectral geography of the Japanese metropolis', *Revenant: Critical and Creative Studies of the Supernatural*, Issue 9. (accepted).

Thurgill, J. (2023) 'The Spatial Hinge: An Introduction', *Literary Geographies*, 9(2), 234-236.

Thurgill, J. (2023) 'The Spatial Hinge: Reframed', *Literary Geographies*, 9(2), 261-265.

Thurgill, J. (2022) 'Spectral Geography: Ghostly narratives and the construction of place in a haunted Tokyo suburb', *Lo Squaderno: Explorations in Space and Society*, No. 62., 13-18.

Thurgill, J. (2021) 'Literary Geography and The Spatial Hinge', *Literary Geographies*, 7(2), 152-156.

Thurgill, J. (2021) 'Alfred Watkins: Centenary of the Discovery', *Local Dowsing Group Newsletter*, No. 60, Winter 2020.

Thurgill, J. (2020) 'In Spite of Cosmic Loneliness: Exploring literary geographies of folklore from lockdown', *Literary Geographies*, 6(2), pp. 284-289.

Thurgill, J. (2020) 'A Fear of the Folk: on topophobia and the horror of rural landscapes', *Revenant: Critical and Creative Studies of the Supernatural*, 5, pp.33-56.

共著記事

Pazdziora, J.P. and Thurgill, J. (2023) 'A Relational Literary Geography of George MacDonald's *The Wise Woman*', *North Wind: A Journal of George MacDonald Studies*, 41., 21-42.

Lovell, J and Thurgill, J. (2021) 'Extending Hot Authentication: Imagining Fantasy Space', *Annals of Tourism Research*, 87. Online.

本の章

Thurgill, J. (2025) 'Literary Geography and the Ghost Story: Haunting, Narrative, and Spatiality in Lucy M. Boston's *The Children of Green Knowe*' in Passey, J., Baker, J., and Bartholomew, H. ' *New Directions in the Ghost Story: Volume 1*'. Palgrave. (承認された)

Thurgill, J. (2024) 'Literary Geography' in Warf, D. ' *Encyclopedia of Human Geography*', Springer Press. (承認された)

Thurgill, J. (2024) 'The Rings of Saturn' in Sutherland, J. (ed) *Literary Journeys*. London: Modern Books.(承認された)

Thurgill, J. (2024) 'Folklore as Common Space' in Tanaka, Y. (ed) *History and Theory of Common Spaces (EAA Booklet 33)*.Tokyo: East Asian Academy for New Liberal Arts.15-36.

Thurgill, J. 'Strange Permutations, Eerie Dis/locations: On the cultural and geographic specificity of Japanese Folk Horror' in Edgar, R. and Johnson, R. (eds.) *Routledge Companion to Folk Horror*. London: Routledge. 431-442.

Thurgill, J. (2020) 'Geo-interventions: walking art, 'deep-mapping' and the biography of place' in Zhao, M. (ed.) *Place, Space, Art*, Hangzhou, China Academy of Art Press. 134-147.

学術発表

Thurgill, J. (2024) 'A Literary Geography of Folklore: Place, Narrative, (Inter)Spatiality', Faculty Research Forum, Center for Global Education, The University of Tokyo, 10th January 2024. (Invited speaker).

Thurgill, J. (2023) 'Literary Geographies of Folklore', Association for Cultural Studies Virtual Lecture Series, Association for Cultural Studies [Online], 20th April 2023. (Invited speaker).

Thurgill, J. (2023) 'Folklore as Common Space', History and Theory of Common Spaces: The Second Symposium of the Room and Space Research Group, East Asian Academy for New Liberal Arts and Institute for Advanced Studies on Asia, The University of Tokyo, Japan. 9th March 2023. (Paper Presentation).

Thurgill, J. (2023) 'Strange Constellations: On the interspatiality of folklore', Guest lecture for the 3S Research Group, School of Environmental Sciences, University of East Anglia, Norwich, UK. 17th February 2023. (Invited speaker).

Thurgill, J. (2022) 'Veganism, Politics, Place', Guest lecture in Environmental Politics, Rikkyo University, Tokyo, Japan. 10th November 2022. (Invited speaker).

Thurgill, J. (2022) 'Spatiality and the Urban Experience: Revisiting Jinnai Hidenobu's Tokyo: A Spatial Anthropology', "Room and Space" Research Group, East Asian Academy for New Liberal Arts, The University of Tokyo. Tokyo, Japan. 27th November 2022. (Invited speaker).

Thurgill, J. (2022) 'Beyond Text and Space: The Fantastic Geography of Lafcadio Hearn's Japan', Fantastische Geographien, 13th Annual Conference of the Association for Research in the Fantastic, TU Dortmund, Germany. 22nd September 2022. (Paper Presentation)

Thurgill, J. (2022) 'The Legends of Tōno: Literary Geography, Folklore, Interspatiality', RGS-IBG Royal Geographical Society Annual Conference 2022, Newcastle University, UK. 2nd September 2022. (Paper Presentation and Session Chair).

Thurgill, J. (2022) 'Absence and the Spatial Experience', 7th Meeting of the "Room and Space" Research Group, East Asian Academy for New Liberal Arts, The University of Tokyo. Tokyo, Japan. 29th March 2022. (Keynote).

Thurgill, J. (2021) 'The Numinous Borders of Lafcadio Hearn's Japan; or, A Literary Geography of Folklore'. RGS-IBG Royal Geographical Society Annual Conference 2021, London, UK [Online]. 3rd September 2021. (Paper Presentation).

Thurgill, J. (2021) 'Constraint, Curiosity, and Chronotopes: Encountering literary geographies of folklore in a pandemic', Human Geography Research Group, School of Geographical and Earth Sciences, Glasgow University, Glasgow, UK [Online], 5th May 2021. (Invited speaker).

Thurgill, J. (2021) 'A Watkinsian Geography: Memory, mapping and place in the work of Alfred Watkins', Malvern Dowsers Online Talks, Malvern, UK [Online]. 28th April 2021. (Invited speaker).

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 5件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 James Thurgill	4. 巻 63
2. 論文標題 Spectral Geography: Ghostly narratives and the construction of place in a haunted Tokyo suburb	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Lo Squaderno	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 James Thurgill	4. 巻 7(2)
2. 論文標題 Literary Geography and the Spatial Hinge	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Literary Geographies	6. 最初と最後の頁 152-156
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 James Thurgill	4. 巻 62
2. 論文標題 Spectral Geography: Ghostly narratives and the construction of place in a haunted Tokyo suburb	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Lo Squaderno	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 James Thurgill	4. 巻 6
2. 論文標題 In Spite of Cosmic Loneliness: Exploring literary geographies of folklore from lockdown	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Literary Geographies	6. 最初と最後の頁 284-289
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Jane Lovell and James Thurgill	4. 巻 87
2. 論文標題 Extending Hot Authentication: Imagining Fantasy Space	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annals of Tourism Research	6. 最初と最後の頁 103-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.annals.2020.103138	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計11件 (うち招待講演 8件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Literary Geographies of Folklore
3. 学会等名 Association for Cultural Studies Virtual Lecture Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Folklore as Common Space
3. 学会等名 History and Theory of Common Spaces: The Second Symposium of the Room and Space Research Group, UTokyo (招待講演)
4. 発表年 2022年 ~ 2023年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Strange Constellations: On the interspatiality of folklore
3. 学会等名 3S Research Group, School of Environmental Sciences, University of East Anglia, (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Veganism, Politics, Place
3. 学会等名 Guest lecture in Environmental Politics, Rikkyo University, (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Spatiality and the Urban Experience: Revisiting Jinnai Hidenobu 's Tokyo: A Spatial Anthropology
3. 学会等名 Room and Space” Research Group, East Asian Academy for New Liberal Arts, The University of Tokyo (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Beyond Text and Space: The Fantastic Geography of Lafcadio Hearn 's Japan
3. 学会等名 Fantastische Geographien, 13th Annual Conference of the Association for Research in the Fantastic (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 The Legends of Tono: Literary Geography, Folklore, Interspatiality
3. 学会等名 RGS-IBG Royal Geographical Society Annual Conference 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 The Numinous Borders of Lafcadio Hearn's Japan, or A Literary Geography of Folklore
3. 学会等名 Royal Geographical Society Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Absence and the Spatial Experience (Keynote)
3. 学会等名 East Asian Academy of New Liberal Arts "Room and Space" Public Review (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 A Watkinsian Geography: Memory, mapping and place in the work of Alfred Watkins
3. 学会等名 Invited Lecture, Malvern Dowers Online Monthly Lecture Series (Online, UK) (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 James Thurgill
2. 発表標題 Constraint, Curiosity, and Chronotopes: Encountering literary geographies of folklore in a pandemic
3. 学会等名 University of Glasgow Human Geography Research Group, (Online, UK) (招待講演)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 James Thurgill and Mon Madomitsu	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Seeds Planning	5. 総ページ数 208
3. 書名 サーギル博士と巡る 東大哲学散歩：場の地理学的解釈に向けて	

1. 著者名 Various	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Modern Books	5. 総ページ数 -
3. 書名 Literary Journeys (Edited by John Sutherland)	

1. 著者名 James Thurgill	4. 発行年 2020年
2. 出版社 China Academy of Art Press	5. 総ページ数 14
3. 書名 Place, Space, Art (Book Chapter)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------